

エダマメ・畝(うね)への植えかえ【3年生】

桐朋学園小学校・生活科

3年生のみなさんには、『生活科だより No.1』では「肥料の話・土作り」について、『生活科だより No.3』では「エダマメの話・芽出し」について、かんたんにしょうかいしました。おたより、読んでくれたかな？

さて今回は、「芽出し」でポットに植えたエダマメの種(たね)から芽が出たものを、畑の畝(うね)に植えかえたようすをしょうかいしたいと思います。

ぜひ、今回もみなさんに読んでもらい、作ぎょうのようすだけでなく、エダマメがすくすくと成長(せいちょう)しているようすも見てもらえたらうれしいです。



1. エダマメの芽が出ました

4月28日(火)、「土にかえるポット」に植え付けたエダマメの種から、少しずつ芽が出てきてくれました。一つ目の芽が出たすがたを見たとき、本当にうれしい思いになりました。生まれたての芽はかわいいです。



2. 畑への植えかえをしました

5月5日(火)、たくさんのポットから芽が出てきてくれたので、3年生の先生とそうだし、畑の畝(うね)への植えかえをしました。さわやかな青空の下、気持ちよく作ぎょうをすることができました。



まずは、畝をもう一度、ととのえます。



ととのえた畝に、ポットをならべていきます。



ポットを一つずつ、やさしく植えていきます。



植えかえがおわったところで、お水をあげました。



広い畑におひっこしをして、うれしかな…？



これから大きくなって、たくさん実(み)をつけてね。

3. 「さいばいセット」をおくるじゅんびをしました

5月7日(木)、3年生一人一人のおうちにとどける「さいばいセット」の発送(はつそ)作ぎょうをしました。『生活科だより』で、畑のようすはしょうかいしていますが、やっぱり「種うえ」、「発芽(はが)」、「双葉(ふたば)」など、じょじょにせい長していくようすは、本ものをみちかで見ても、本ものから学んでほしいという思いから、みなさんのもとにとどけることにしました。

15日(金)のオンラインじゅぎょうで、植え方などのせつ明をするので、たのしみにしててください。



えいようたっぷりの畑(桐の庭)の土をおくります。



おうちにとどく「さいばい・3点セット」です。